

2 体 操 競 技 実 施 要 項

1. 日 程 <体操競技>

6月3日(金) 体操競技監督会議

6月4日(土) 体操競技審判会議

少年の部(団体総合・個人総合・種目別) 成年の部(個人総合・種目別)

<新体操男子>

6月4日(土) 新体操監督会議・審判会議 団体・個人競技

<新体操女子>

6月4日(土) 新体操監督会議

6月5日(日) 新体操審判会議 団体・個人競技

2. 会 場 体操競技男子・女子(山形県立庄内総合高等学校体育館)

新体操男子(山形県立遊佐高等学校体育館) 新体操女子(山形城北高等学校体育館)

3. 競技区分 国体予選(第66回国民体育大会県予選会兼第38回東北総合体育大会県予選会)

4. 競技規定 (1)日本体操協会制定競技規則並びに採点規則による。ただし、本大会特別規則は審判会議・監督会議を経て適用する。

(2)出場校は必ず有資格者1名の審判を紹介すること。

(3)各校の監督を審判に委嘱することがある。

5. 競技方法 (1)体操競技

① チームの編成

(ア)成年・少年男女とも個人選手権とするが、少年男女においては各種目のベスト3によりチーム選手権も併用する。選手8名まででチームを編成(1チーム3名でも可)し、他に補欠2名を認める(申込書に明記のこと)。2名以下の場合には個人として競技に参加することができる。

なお、申込書の1から4までの選手は2班に、5以降の選手は1班に編成する。参加者が少ない場合は1班にまとめて班編成することもある。その場合は細部連絡にて通達する。

(イ)少年男女とも1登録団体より出場できる選手は10名(チーム8名、補欠2名)までとする。また、男女ともマネージャー1名を申し込むことができる。

(ウ)チーム選手権は、1班から2班、2班から1班へ入れ替えることができる。

② 競技方法

(ア)成年男子、成年女子(個人総合及び種目別)

男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。個人総合成績順位は、6種目の自由演技の得点総合計によって決める。ルールは2009年版採点規則、体操競技男子2010年度内規及び男子体操競技情報17号までを適用する。種目別成績順位は、各種目別の得点によって決める。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。ルールは2009年版採点規則・変更規則I及び女子体操競技情報16号までを適用する。個人総合成績

順位・種目別成績順位の決定方法は男子に準ずる。
(跳馬の跳躍は2本とし、得点の高いほうを採用する)
(イ)少年男子、少年女子(個人総合・種目別ならびに団体総合)

(a)男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。ルールは平成21年度版高等学校男子適用規則及び男子体操競技情報16号までを採用する。女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。ルールは2009年版採点規則・変更規則I及び女子体操競技情報16号までを採用する。
(跳馬の跳躍は2本とし、得点の高いほうを採用する)

(b)個人総合及び種目別

男子の個人総合成績順位は、6演技の得点合計によって決める。
女子の個人総合成績順位は、4演技の得点合計によって決める。
種目別成績順位は、棄権種目のある選手の得点も有効とする。

(c)団体総合

団体総合成績順位は、各チームの男子6種目、女子4種目のベスト3の得点総合計によって決める。

(注)同点同位が出た場合の順位決定は、日本体操協会の競技規則による。

(2)新体操 男子は日本体操協会新体操男子2008年版採点規則、女子は日本体操協会新体操女子2009-2010年新体操採点規則を採用する。男女とも高体連適用ルールを採用する。

①競技内容	少年男子	団体競技(徒手) 個人競技(スティック、リング、ロープ、クラブ)
	少年女子	団体競技(フープ5) 個人競技(ロープ・フープ・ボール・リボン)

成績順位は、男女それぞれ以下の合計得点によって決める。

男子:団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/2)の合計

女子:団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計

②団体競技について

少年男子、少年女子とも演技者は5名とする。

③個人競技について

少年男子、少年女子とも個人競技の演技者として、団体5名のうちから4名だけが出場できる。

(注)同点同位がでた場合の順位決定は、日本体操協会の競技規則による。

6. 参加資格

(1)山形県体操協会に本年度の登録を完了したもの。

(2)本大会総則の7「参加資格及び選手の年齢基準等」の条件を満たすもの。山形県の選手として疑問がある場合は、事務局に問い合わせること。

(3)中学生以下の生徒については、体操競技のみ、中学3年生で山形県体操協会より推薦され、学校長及び保護者の承認を得た者のみ出場できる。

(4)国体に参加する選手は、本県大会に参加しこれを通過した者であること。

(5)参加資格に疑義があるときには、(財)山形県体育協会及び当該競技団体が審査し決定する。

7. その他

(1)選手は健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。

(2)健康保険証を必ず持参すること。

(3)メンバーの最終決定は、体操競技・新体操それぞれの監督会議で決定する。

(4)競技日程は後日事務局より連絡する。

(5)宿泊先、会場でのゴミの分別収集にご協力下さい。(持ち帰りを原則とする)

(6)学校の顧問・チーム責任者より、本人及び保護者に対し、「大会プログラム作成及び成績上位者の報道発表並びに(財)山形県体育協会ホームページへの記載について、口頭による同意を得ること。

8. 表彰並びに選考

(1)各種別及び各種目の優勝者にはメダルを授与する。

(2)各種別及び種目・チーム選手権の1位から3位までに賞状を授与する。

(3)東北大会及び国体への派遣選手・役員は選考委員会で選考のうえ、県体育協会が決定し、県教育委員会が承認する。

(4)選考委員会は、県体操協会会長・理事長・各専門部長・各委員長・各地区代表理事・県高体連委員長・県中体連委員長・事務局長及び本大会各審判長をもって構成する。

9. 申込み

(1)参加申込み

①別添参加申込書により2部作成のうえ出場認知書(少年のみ)を添え、下記あて送付すること。

(2)宿泊申込み

①宿泊希望者は別紙申込書により、下記あてに3部送付すること。

②宿泊申込みは実行委員会事務局を通さなければならない。申込み後の変更は認めない。

③宿泊申込み人数は監督(引率者)及び各競技団体が定めるエントリー選手数を超えないこと。

(3)申込み締め切り日(参加・宿泊とも)平成23年5月12日(木)必着。

(4)申込先

〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-9-1

山形市立商業高等学校 会田 広 宛

電話023-643-4115 FAX023-643-4118

(5)参加料及び宿泊予納金は申込みと同時に現金書留で送金すること。送金のない場合は正規の受付としない。

10. 参加料等

本大会に参加する監督、選手は次の参加料を納付すること。

(1)成年1名に付1,500円(オリンピック募金250円、スポーツ振興募金100円を含む)

(2)少年1名に付1,000円(オリンピック募金170円、スポーツ振興募金100円を含む)

(3)マネージャー及び補欠は参加料を必要としない。

(4)少年の種別の監督は少年扱いとする。ただし、少年の監督と成年の選手を同一競技内で兼ねる場合は成年選手参加料とする。

11. 宿泊料 (1) 宿泊希望は別紙により3部作成し、参加申込みと同時に申し込むこと。

(2) 宿泊料(消費税含む)

中学生選手	1泊2食(浴衣なし)	5,985円
高校生選手	1泊2食(浴衣なし)	5,985円
中・高校生監督	1泊2食(浴衣あり)	6,615円
一般・大学生	1泊2食(浴衣あり)	7,140円
競技役員	1泊2食(浴衣あり)	7,140円
大会役員	1泊2食(浴衣あり)	7,980円

(3) 宿泊予納金(中・高校生及び中・高校生の監督は必要としない)

一般・大学生・役員 1人 2,000円。

(4) 昼食は、弁当を630円(消費税含む)で斡旋する。

(5) 宿泊予約を取り消す場合の宿泊取消料は、次の通りとする。

① 宿泊申込日より宿泊予定前日までに取消を申し出た場合
取消料は徴収しない。

② 宿泊予定当日の午後3時まで取消を申し出た場合
1名につき、2,100円の取消料を徴収する。

③ 宿泊予定当日の午後3時以降に取消を申し出た場合
1名につき、宿泊料金全額を徴収する。

(6) 監督以外の付添者等の宿泊料金は大会役員料金とする。また、部屋割りについて別待遇を希望する場合、または定員を満たさない場合は別料金とする場合がある。